

第3章. まちづくりの将来像

および目標【両計画共通】

第3章. まちづくりの将来像および目標【両計画共通】

1. まちづくりの将来像

- まちづくりの将来像は、本市の最上位計画である第2次能代市総合計画の将来像を位置づけます。

“わ”のまち 能代

健やかで感謝と思いやりにあふれる **人と人との“和”** によるまち

特色ある地域の環境を最大限に活かす **地域資源で活力を生む“環”** によるまち

地域の誇りと生活の基盤を将来へ引き継いでいく **未来へつなぐ安心の“輪”** によるまち

2. 計画の目標

- 計画の目標は、将来像の実現に向け、人口減少・高齢化が進展する中にあっても持続可能（＝市民の生活や文化が持続できる）な都市を構築するために達成すべき事項を設定する必要があります。
- 具体的には、第2次能代市総合計画で位置づけている基本目標に対し、まちづくりの課題や市民意向を踏まえ、都市整備分野が中心となって達成すべき目標を、以下のとおり設定します。

目標

視点1「和・輪」：拠点の形成や連携に関する事項

ヒト（市民や来訪者）やコト（体験）が交錯する、生活・文化・情報の拠点があるまち

視点2「輪」：産業振興や雇用の確保に向けたまちづくりに関する事項

市民の暮らしを支える、産業基盤が整ったまち

視点3「輪」：防災まちづくりに関する事項

海・川・山の豊かな自然とともに生きる、強くしなやかな生活基盤の整ったまち

視点4「和・環」：本市固有の地域資源を活用したまちづくりに関する事項

本市固有の地域資源を守り・活かす、自然や歴史・文化を継承するまち

視点：拠点の形成や連携に関する事項

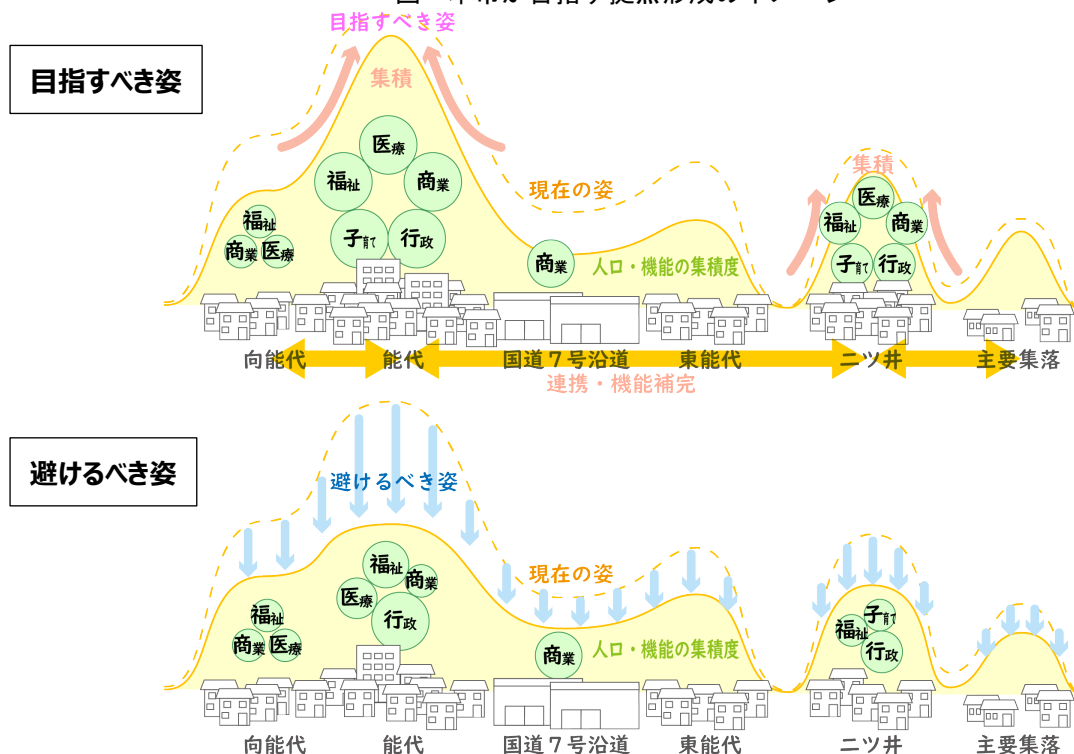
目標Ⅰ

ヒト（市民や来訪者）やコト（体験）が交錯する、生活・文化・情報の拠点があるまち

～第2次能代市総合計画の基本目標：「元気で魅力あるまち」「安心して暮らしやすいまち」と関連～

- 本市は、能代山本地域の中心都市であり、中でも能代地域の中心市街地は、米代川の水運、北前船による西廻り海運の要衝として栄え、人々が集まり交流することで、生活・文化・情報の中心地としての役割を担ってきました。また、二ツ井地域の中心部は、古くから定期市が開かれ、鉄道開通後は二ツ井駅周辺に商店街が形成されるなど、周辺地域の経済的中心地としての役割を担ってきました。
- 市街地の周辺では、浅内、檜山、鶴形、常盤、富根の各地区に主要な農山村集落が分布しており、本市の重要な産業である農林業を支え、各地でのささらや獅子踊りなど、農山村独自の文化を継承する拠点として、その役割を担ってきました。
- このように能代および二ツ井の地域中心部や主要な集落は、市民生活の中心地であり、当該拠点に立地する医療・福祉・商業・子育て支援等の各種の生活サービス施設が日々の暮らしを支え、情報の集積・発信の場、文化が育まれる場にもなっています。中でも、能代および二ツ井の地域中心部は、行政や教育・文化機能も立地し、農山村集落に不足する機能を補完しています。
- 一方、人口減少・高齢化は今後とも継続し、能代および二ツ井の地域の中心部ほど人口が大きく減少していくことが予想されます。これらの拠点に立地する生活サービス施設にとっては、利用者数の減少として影響を及ぼし、施設の減少を招くことが懸念されます。さらには生活サービス施設の減少が拠点全体のサービス水準の低下を引き起こし、中心性・拠点性を低下させることへとつながっていきます。
- 今後のまちづくりにおいては、厳しさを増すこれらの拠点を守っていくことが重要です。これらの拠点の都市機能や居住を維持し、または積極的な誘導・集積を進めるとともに、規模や機能が異なる拠点同士を連携し、保有する機能・資源の相互補完を促進します。
- また、都市機能の維持や誘導等を促進することで、人・情報の交流や文化活動の活発化を図り、幹線道路沿道の商業地とのすみ分けを図ります。

図 本市が目指す拠点形成のイメージ



視点：産業振興や雇用の確保に向けたまちづくりに関する事項

目標 2

市民の暮らしを支える、産業基盤が整ったまち

～第2次能代市総合計画の基本目標：「豊かで活力あるまち」と関連～

- 本市の工業は、産業振興や雇用創出等の重要な役割を担っています。
- 能代港には能代火力発電所が立地していることに加え、近年では、洋上風力発電施設の建設および維持管理等の拠点としての役割も期待されるエネルギー拠点となっています。
- また、本市はかつて天然秋田杉の集散地として、木材業が発達し、「木都能代」の名で全国的にも知られていました。近年、豊富な秋田杉を活かした林業・木材産業等の地域産業の活性化も求められ、能代工業団地への企業立地も進められています。
- 商業や農業は、市民生活を支える重要な役割も担っています。能代および二ツ井の地域中心部を中心とした商業地や主要な農山村集落では、人口減少・高齢化にともなう担い手の減少にも対応しながら、その機能を維持・向上していく必要があります。
- 今後のまちづくりにおいては、土地利用の適切な規制・誘導、流通に資する道路整備、企業進出や起業、事業承継、就農がしやすい環境づくり等を進めていきます。

視点：防災まちづくりに関する事項

目標 3

海・川・山の豊かな自然とともに生きる、強くしなやかな生活基盤の整ったまち

～第2次能代市総合計画の基本目標：「安心で暮らしやすいまち」と関連～

- 都市の発展経緯からもわかるように、米代川や日本海は本市のまちづくりから切り離すことができない、重要な要素となっています。
- 一方で過去には、1972年（昭和47年）豪雨での米代川堤防の決壊、日本海中部地震での津波の発生など、洪水や津波により被災した経験を持っています。また、近年の気候変動にともなう豪雨の頻発化・激甚化による洪水被害、数百年～千年に1回の発生頻度の地震発生にともなう津波被害の可能性を有しています。
- 今後のまちづくりにおいては、災害リスクをハード対策のみでは回避することはできないことから、人命を守ることを最優先とし、ハード対策とソフト対策、自助・共助・公助を適切に組み合わせた対応を進めていきます。

視点：本市固有の地域資源を活用したまちづくりに関する事項

目標 4

本市固有の地域資源を守り・活かす、自然や歴史・文化を継承するまち

～第2次能代市総合計画の基本目標：「元気で魅力あるまち」「笑顔で人が輝くまち」と関連～

- 本市は、日本海や米代川の水辺空間、世界自然遺産白神山地、風の松原、きみまち阪県立自然公園、市街地を囲む田園や山林など、豊かで優れた価値をもつ多種・多様な自然環境に恵まれています。
- また、旧料亭金勇等の歴史的建造物や景勝地に加え、歴史の里檜山、能代役七夕等の伝統行事やイベントなど、観光交流にも資する文化的資源も有しています。
- しかし、人口減少・高齢化の影響から、営農や営林ができない農地や山林の荒廃が懸念されるほか、地域の文化的資源に関しても、担い手の不足にともない保存・活用が困難な状況になってきています。
- 今後のまちづくりにおいては、豊かな自然環境との共生に向けた農地・山林の維持・保全に加え、コミュニティの維持や活性化、地域住民等との協働・担い手の育成等による文化の保全・活用、新たな地域資源の掘起しや磨き上げ等を進めていきます。

3. 将来都市構造

3-1. 基本的な考え方

- 本市は、市域の約8割に森林や農地等の自然が分布しており、日本海に面し、東西に米代川が流れています。
- 能代および二ツ井の地域に市街地が形成されているほか、浅内、檜山、鶴形、常盤、富根にまとまりのある主要な集落が形成されています。
- 日本海沿岸東北自動車道、国道7号、国道101号を中心とした骨格道路が隣接都市や各地域をつないでいます。
- 人口減少・高齢化が進展する中であっても持続可能（＝市民の生活や文化が持続できる）な都市を構築するため、現在の配置を基本としながら、都市機能が集積する各地域の拠点を中心に、都市機能や居住を維持し、または積極的な誘導・集積を進めるとともに、各地域の資源を活用した連携・交流を促進することで、集約連携型の都市構造を目指していきます。
- 将来都市構造とは、市全域を対象とし、将来の望ましい都市の構成を「エリア（面）」、「拠点」、「軸」によって表現するものです。

表 将来都市構造の要素および趣旨

将来都市構造の要素	趣旨
エリア（面）	● 土地利用の考えの基礎となるもの ● 利用目的別に大きく区分し、それぞれの利用目的に則した土地利用の規制・誘導を進めていく
拠点	● 人口や機能の分布状況、市街地形成の経緯等から、市全体の視点で個別にまちづくりを考えていく必要がある地区や集落等のまとまり ● 人口や都市機能の集積、維持・向上を進めていく
軸	● 骨格的な道路や公共交通等で、市内各地域や隣接都市との交流・連携に資するもの ● 交流・連携機能の維持・向上を進めていく

3-2. 将来都市構造形成の方針

(1) エリアの形成

1) 市街地エリア

- ・ 用途地域が指定されている範囲を「市街地エリア」に位置づけます。
- ・ 本エリアでは、居住や商業、工業に適した環境形成を進めつつ、用途に応じた機能の維持・向上を図ります。
- ・ また、市街地エリアの周辺を取り囲む農地や森林等を保全するため、市街地エリア内に市街化を誘導していきます。

2) 誘導促進エリア

- ・ 市街地エリアのうち、医療・福祉・商業・子育て支援等の各種の生活サービス施設のほか、行政機能や文化機能等の施設が集積している能代および二ツ井の地域中心部を「誘導促進エリア」に位置づけます。
- ・ 本エリアでは、医療・福祉・商業・子育て支援等の都市機能や居住の誘導により、徒歩や公共交通等により、日常生活に必要なサービスを市民が身近に享受できる環境の維持・向上を図ります。

3) 田園・集落エリア

- ・ 市街地エリアの外側の既存集落と農地が混在する範囲を「田園・集落エリア」に位置づけます。
- ・ 本エリアでは、新たな宅地開発を極力抑制しながら、農業の生産基盤である農地および集落や農地が織りなす原風景の保全を図ります。
- ・ 既存集落では、周辺農地との調和に配慮しつつ、居住環境の維持・改善を図ります。

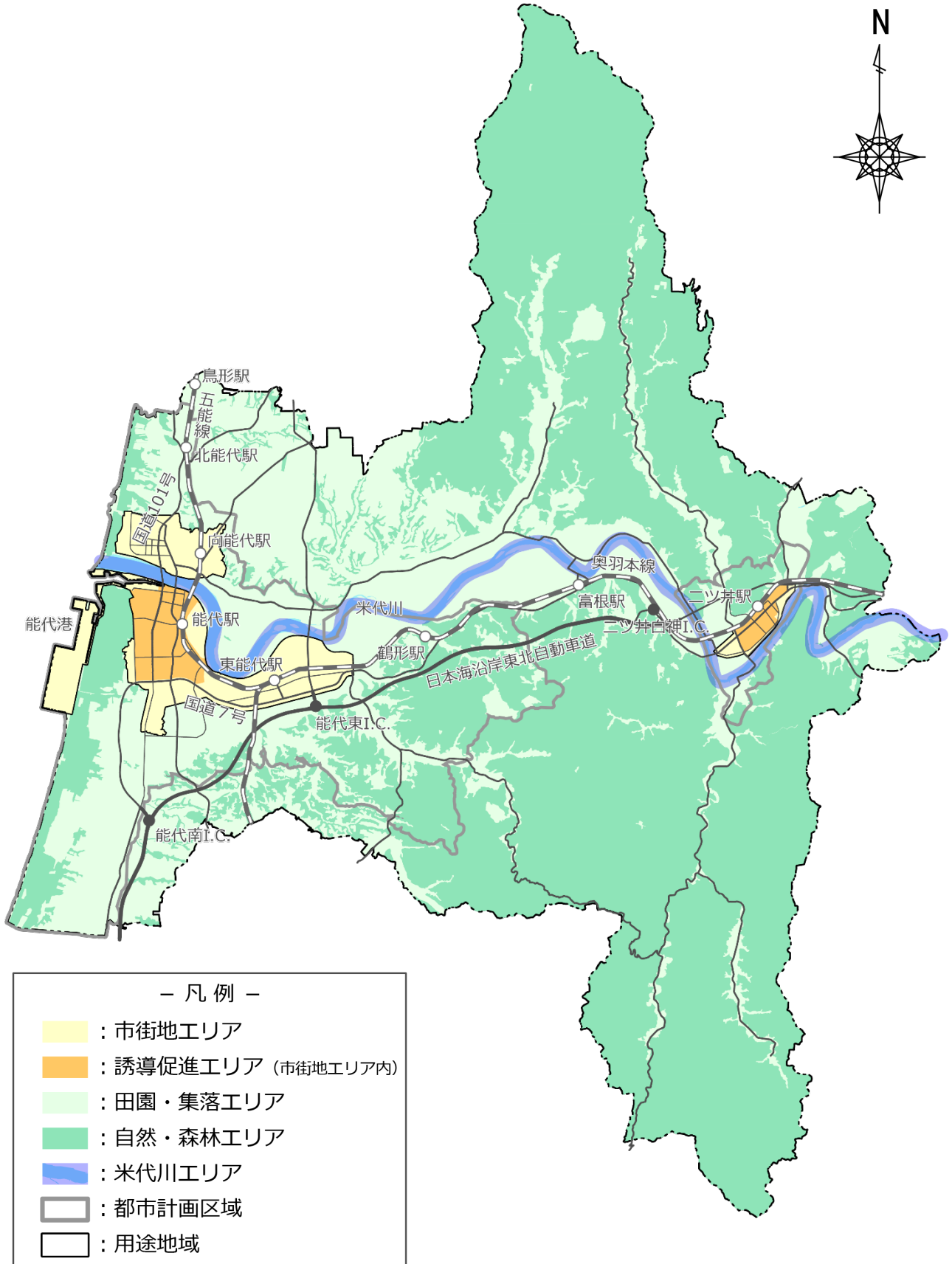
4) 自然・森林エリア

- ・ 現在の森林地域を「自然・森林エリア」に位置づけます。
- ・ 本エリアでは、林業・木材産業の生産基盤であり、環境保全や水源かん養、防災等の多面的な機能を持つ森林資源の保全や適切な維持管理を行いつつ、レクリエーションや環境学習の場等としての活用を図ります。

5) 米代川エリア

- ・ 米代川河川区域（主に堤防と堤防に挟まれた間の範囲）を「米代川エリア」に位置づけます。
- ・ 本エリアでは、利水および治水機能の充実を行いつつ、良好な河川環境の保全・活用を図ります。

図 エリアの配置



(2) 拠点の形成

1) 能代地域中心拠点

- ・ 医療・福祉・商業・子育て支援等の各種の生活サービス施設が市内でもっとも集積しているほか、行政機能や文化機能等の市全体を対象とした施設が立地している能代地域の中心部を「中心拠点」に位置づけます。
- ・ 本拠点では、居住を誘導するとともに、集積した都市機能の維持や不足機能の誘導等を進めるなど、高質で利便性の高い生活空間を形成し、市全体の核として、拠点性の維持・向上を図ります。

2) ニツ井地域中心拠点

- ・ 医療・福祉・商業・子育て支援等の各種の生活サービス施設のほか、行政機能や文化機能など、ニツ井地域の住民の生活を支える施設が集積しているニツ井地域の中心部を「中心拠点」に位置づけます。
- ・ 本拠点では、居住を誘導するとともに、現在保有する都市機能の維持を進めつつ、利便性の高い生活空間を形成し、ニツ井地域の核として、拠点性の維持を図ります。また、能代地域中心拠点との連携により、不足機能の補完を図ります。

3) 地区拠点

- ・ 鉄道駅を中心に、土地区画整理事業や民間開発行為等によって形成された主要な住宅市街地で、医療・福祉・商業・子育て支援等の各種の生活サービス施設も立地している東能代地区および向能代・落合地区を「地区拠点」に位置づけます。
- ・ 本拠点では、良好な住宅市街地として、道路や上下水道等の生活基盤の整備や機能維持を進めつつ、住宅ストックの保全・活用や現在保有する都市機能の維持を図ります。また、中心拠点に近接し、鉄道や主要なバス路線が配置された環境を活かし、中心拠点との連携・交流を促進していきます。

4) 集落拠点

- ・ 農業や林業の生産活動の中心地であり、日常生活のセーフティネットを担う生活サービス施設が立地した主要な集落を形成している浅内、檜山、鶴形、常盤、富根の各地区を「集落拠点」に位置づけます。
- ・ 本拠点では、周辺の小規模集落を含めた生活圏の中心地として、地域住民等とともに日常生活に必要な機能の維持を進めるとともに、空き家の活用等による移住・交流等を促進し、地域コミュニティの維持・向上を図ります。



(3) 軸の形成

1) 広域連携軸

- ・ 本市と他都市をつなぐほか、能代地域や二ツ井地域の中心拠点間をつなぐ日本海沿岸東北自動車道や国道7号、国道101号を「広域連携軸」に位置づけます。
- ・ 広域連携軸は、日本海沿岸東北自動車道の未整備区間の開通や、国道7号および101号の機能維持を促進し、広域的な交流を促す交通体系の形成を図ります。

2) 地域連携軸

- ・ 主に拠点間をつなぐほか、広域連携軸と接続する主要な県道を「地域連携軸」に位置づけます。
- ・ 地域連携軸は、地域間の連携や交流を促進するため、安全で円滑な通行の確保を図ります。

表 地域連携軸の対象路線

区分	対象路線
主要地方道	● 4号：能代五城目線 ● 63号：常盤峰浜線 ● 64号：能代二ツ井線
一般県道	● 143号：石川向能代線 ● 205号：富根能代線 ● 317号：西目屋二ツ井線

3) 基幹公共交通軸

- ・ 主に市内の拠点間をつなぐ、JR 奥羽本線や五能線、主要バス路線を「基幹公共交通軸」に位置づけます。
- ・ 基幹公共交通軸は、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシー等の他の公共交通と連携しながら、公共交通サービスの維持・向上を図ります。

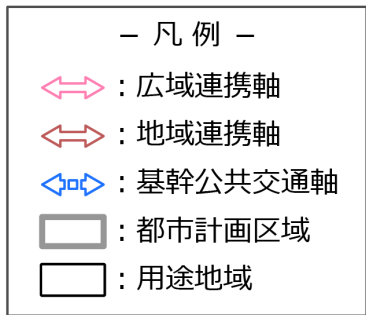




図 将来都市構造図

